

校長室より

二松学舎大学附属高等学校

校長 鶴飼敦之

「二松から飛翔へ」

雪国体験授業 in 菅平高原

東京から4時間半ほどで景色は一変しました。

25日から2泊3日で開催された菅平高原での雪国体験授業ですが、丁度この冬一番の寒波の襲来で前日まで雪が降り、最高気温も氷点下という厳しい寒さの中での宿泊行事となりました。

本行事は学年で最初の宿泊行事でもあり、教室を飛び出し、スキーを通じた授業の機会となりました。参加した1年生は、この行事を通して仲間との絆を深め、笑顔一杯の時間を共有できたでしょう。そして、いくつかのことを学び、気づきを得たことでしょう。

まず、スキー技術の向上。スキーは、独特な技術とバランス感覚が必要なスポーツです。練習を通じて、皆さんは確実に技術を向上させ、「滑る・止まる・曲がる」のそれぞれの到達点で「できた、やったー」という思いを抱いたことでしょう。その過程で得られる達成感や充実感は、他のどんな経験にも代えがたいものです。今回の体験を機に生涯スポーツとも言われるスキーを今後も楽しんでみてください。

次に、冬の自然への感謝と畏怖。ゲレンデやリフトの上から雄大なアルプスの山並みを望み、青空と白雪に覆われた美しい自然を満喫することができました。一方、寒さや雪がもたらす厳しさを感じる機会ともなりました。雪国で暮らす方々の生活にも思いを巡らせ、自然との調和とそれを克服しようとする暮らしもあることを忘れずにいてください。

最後に、目標に向かう向上心。何事も目標を持ち、努力を重ねることで、自分の成長を実感できるはずです。これからは皆さんの行く手には多くのハードルが立ちはだかることでしょう。その際、その壁をどのように解決し、どう乗り越えていくのかという意識を身に付けてくれたことと思います。

閉校式では、B組高山さんから、「未知の山と一緒に乗り越えたことで新しい冒険に向かう勇気を手に入れたことでしょう。雪国体験はこれで閉会しますが、これは新しいときの始まりでもあります。これからは、滑り降りるだけでなく、人生の上り坂も楽しんでいきましょう。」と、前向きで力強い挨拶がありました。

また一回り成長した皆さんを見ることができました。

